

**関西国際空港 2016年国際線冬期スケジュールは
過去最高の週 1,273 便へ**

関西国際空港の国際線 2016 年冬期スケジュールは引き続き旺盛なインバウンド需要の効果もあり、過去最高の週 1,273 便を計画しております。(12 月ピーク時点)。2016 年夏期スケジュールに比べ 32 便増加、2015 年冬期スケジュールに比べ 57 便増加しております。旅客便数は週 1,131 便で過去最高、貨物便数は週 142 便で冬期スケジュールとして過去 6 番目の便数となっております。

特記事項としては、オセアニア方面において「ニュージーランド航空」がオークランド線を週 3 便で約 3 年ぶりに再開します。2015 年ロサンゼルス線、バンクーバー線の就航に続き、関西国際空港の長距離路線成長のポテンシャルが確認できます。

北米方面は 2015 年冬期に比べ週 2 便減便しますが、就航地ネットワークに変更はありません。しかしながら、ヨーロッパ方面においては社会情勢の影響による日本人旅客の需要減に伴い、ヨーロッパ方面便数は週 22 便(2015 年冬期: 週 29 便)に減少しました。アウトバウンド需要の減少は、最近の円高市場にも関わらず、旺盛なインバウンド需要でカバーされております。

短距離路線ではアジアの便数が増加しており、特に韓国方面は週 19 便の増(大韓航空: +週 8 便、アジアナ航空: +週 7 便、ジンエアー: +週 4 便)となっております。

2016 年冬期スケジュールでは、中国方面が週 451 便(2016 夏期比 +週 11 便)と過去最高となっております。具体的には、中国東方航空(北京線)、中国南方航空(上海線)、上海吉祥航空(南京線)、深圳航空(無錫線)がそれぞれ週 7 便のデイリー運航に増便する計画です。この冬期スケジュールでは、「ピーチ」が日本のローコストキャリア(LCC)としては初めて中国本土への路線となる上海線を週 5 便で新たに運航開始します。また、春秋航空は淮安(わいあん)線及び掲陽(けいよう)線を新たに開設します。東南アジアは引き続きネットワークが拡大しており、マニラ、クアラルンプール、シンガポール方面へ合計で週 11 便が増加します。

この冬期スケジュールでは、FSC、LCC ともに増加しますが、LCC が特に増加しており、LCC 便数は週 390 便、国際旅客便に占める LCC 率は 34.5% (2015 冬期は 32.9%)、関西国際空港に就航する LCC は 17 社となります。

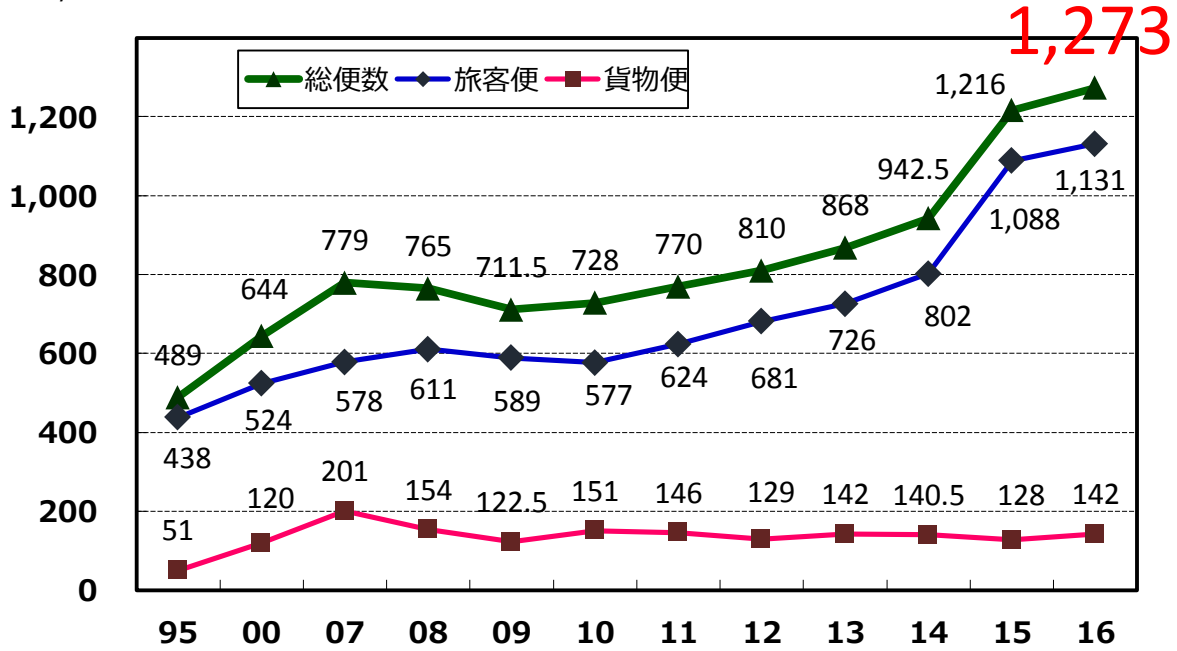
関西国際空港における国内線は、春秋航空日本が新たにデイリー運航で開設した成田便が増加しており、国内旅客便に占める LCC 率は 56% となっております。

貨物便については、この冬期スケジュールにおいては増加する見通しで、すでにユニトップエアラインズの深セン線が週 6 便で運航を開始しております。

関西国際空港における国際線冬期スケジュール就航便数の推移

(便/週)

冬期スケジュール



【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
コーポレートコミュニケーション部 広報グループ
Tel : 072-455-2201

2016年冬期スケジュール 関西国際空港における主な増便等

● 旅客便

航空会社	路線	便/週	増便数/週	就航時期	備考	
FSC	AIR NEW ZEALAND ニュージーランド航空	オークランド	0→3	3	11月4日から	ニュージーランドの観光シーズンを見据えて2016年11月4日(金)から、関西＝オークランド直行便を2013年9月以来、約3年ぶりに再開することとなりました
	中国東方航空 CHINA EASTERN	北京	4→7	3	10月30日から	左記、中国各地点の便が増便され、渡航の選択肢が広がります。
	JUNEYAO AIR 吉祥航空	南京	4→7	3	10月30日から	
	中国南方航空 CHINA SOUTHERN AIRLINES	上海	4→7	3	10月30日から	
	中国南方航空 CHINA SOUTHERN AIRLINES	深圳	4→5	1	10月30日から	
	深圳航空 Shenzhen Airlines	無錫	5→7	2	10月30日から	
	深圳航空 Shenzhen Airlines	南通＝西安	2→2	0	10月30日から	
	KOREAN AIR	仁川	21→28	7	10月30日から	関西＝仁川線が週28便に拡充されます。
	KOREAN AIR	済州	3→4	1	10月30日から	関西＝済州線が週4便に拡充されます。
	ASIANA AIRLINES アジアナ航空	仁川	21→28	7	11月11日から	関西＝仁川線が週28便に拡充されます。
LCC	peach Peach	上海	0→5	5	11月1日から	今回の上海線の開設は日本のLCCで初めてとなります。
	春秋航空 SPRING AIRLINES	淮安	0→1	1	11月21日から	淮安、掲陽共に、関西空港からの新規就航地点となります。春秋航空の関西空港路線は、これら2地点が加わり、中国13都市へ就航することとなります。
	春秋航空 SPRING AIRLINES	掲陽	0→1	1	11月24日から	
	JIN AIR ジンエアー	仁川	21→25→28	7	12月13日から 2月6日から	関西＝仁川線が最大週28便に拡充されます。

● 貨物便

航空会社	路線	便/週	増便数/週	就航時期	備考
Uni-top Airlines ユニトップエアラインズ	深圳	0→6	6	9月6日から	中国の貨物航空会社、Uni-top Airlinesが9月から、週6便で関西空港に初就航しています。

● 国内線

航空会社	路線	便/週	増便数/週	就航時期	備考
SPRING JAPAN 春秋航空日本	成田	0→7→10	10	9月28日から 11月4日から	春秋航空日本が、9月28日から新たに関西空に乗り入れを開始し、成田線を毎日運航しています。11月4日～12月25日の金・土・日は1日2便に拡充されます。

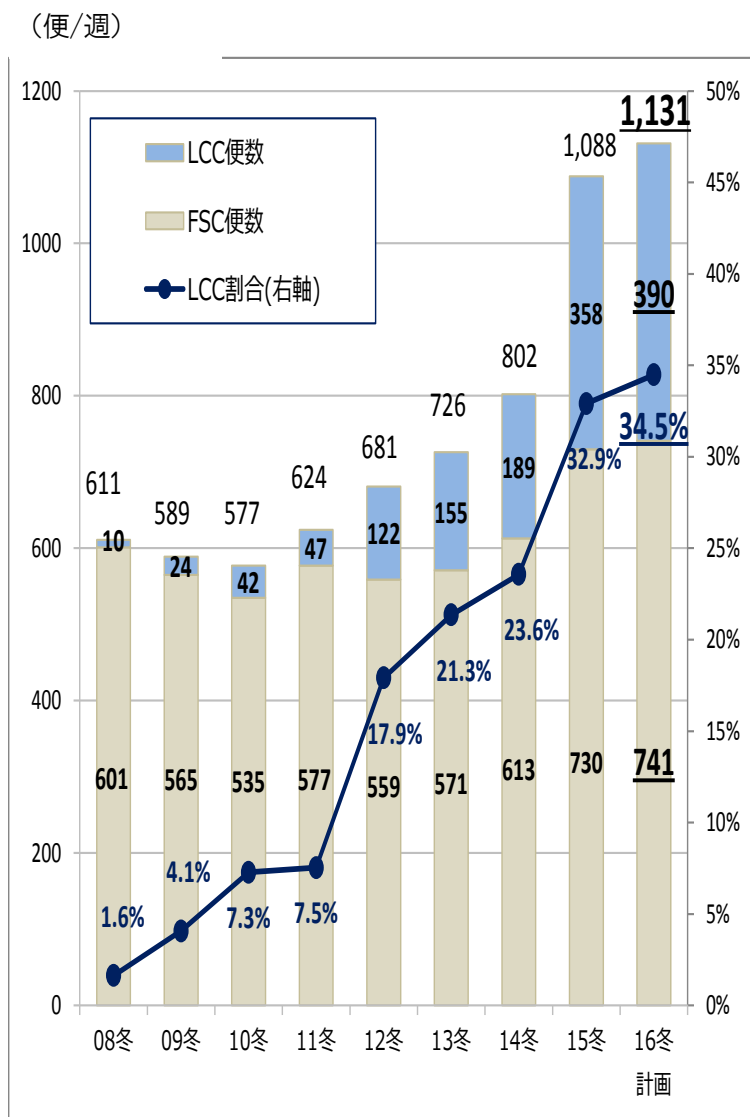
関西エアポート調べのため、政府認可申請中の便や、申請前の計画便も含まれています。

関西国際空港におけるLCCの概況及び方面別便数

◇国際線LCC内訳:17社 25都市

航空会社	路線	便数/週
ピーチ・アビエーション (計82便)	ソウル(仁川)	28
	釜山	7
	香港	14
	台北	21
	高雄	7
	上海	5
ジェットスター・ジャパン (計21便)	香港	7
	台北	7
	マニラ	7
パニラ・エア	台北	7
チェジュ航空 (計42便)	ソウル(仁川)	14
	ソウル(金浦)	14
	釜山	14
エアプサン	釜山	21
イースター航空 (計21便)	ソウル(仁川)	14
	釜山	7
ジンエアー (計32便)	ソウル(仁川)	18
	釜山	14
ティーウェイ航空 (計28便)	ソウル(仁川)	14
	大邱	7
	グアム	7
春秋航空 (計38便)	上海	7
	武漢	2
	天津	4
	重慶	3
	青島	3
	蘭州(上海経由)	7
	鄭州(揚州経由)	4
	西安	2
	長春	1
	福州	3
	淮安	1
	揚陽	1
	香港エクスプレス航空	香港
タイガーエア台湾 (計18便)	台北	14
	高雄	4
セブ・パンフィック航空	マニラ	5
エアアジアX	クアラルンプール	10
ジェットスター・アジア航空 (計17便)	シンガポール(台北経由)	12
	シンガポール(マニラ経由)	5
スクート (計6便)	シンガポール(バンコク経由)	3
	シンガポール(高雄経由)	3
タイ・エアアジアX	バンコク(ドンムアン)	7
ジェットスター航空	ケアンズ	7
計		390

◇国際線旅客便数の推移



◇方面別便数内訳 (国際旅客便)

	13冬 (都市数)		14夏 (都市数)		14冬 (都市数)		15夏 (都市数)		15冬 (都市数)		16夏 (都市数)		16冬(計画) (都市数)		構成比
韓国	159	(3)	161	(3)	170	(3)	221	(4)	252	(4)	255	(4)	274	(4)	24.2%
中国	232	(19)	269	(21)	287	(25)	431	(41)	433	(37)	440	(37)	451	(36)	39.9%
台湾	90	(3)	106	(3)	105	(2)	133	(2)	165	(3)	160	(3)	162	(3)	14.3%
他アジア	112	(10)	107	(11)	113	(11)	122	(11)	124	(11)	131	(11)	142	(11)	12.6%
北米(ハワイ含む)	31	(3)	31	(3)	35	(3)	40	(4)	35	(3)	48	(5)	33	(3)	2.9%
欧州	38	(6)	40	(6)	36	(6)	35	(5)	29	(5)	33	(5)	22	(5)	1.9%
その他	64	(8)	61	(7)	56	(6)	52	(7)	50	(7)	42	(4)	47	(5)	4.2%
合計	726	(52)	775	(54)	802	(56)	1,034	(74)	1,088	(70)	1,109	(69)	1,131	(67)	100.0%
本邦社	3社		3社		4社		4社		4社		5社		5社		
外航社	51社		52社		56社		61社		63社		63社		63社		
就航会社	54社		55社		60社		65社		67社		68社		68社		

*中国方面には、中国本土、香港、マカオを含む。その他方面には、オセアニア、中東等が含まれる。

航空会社別就航便数

国・地域名	航空会社	2015年冬期 10/25～3/26 2016年3月(ピーク)	2016年夏期 3/27～10/29 2016年9月(ピーク)	2016年夏期 3/27～10/29 2016年7月(ピーク)	2016年冬期 10/30～3/25 2016年12月(ピーク)		
		実績	計画	実績	計画		合計
					旅客便	貨物便	
日本	日本航空	49	49	49	49		49
	全日本空輸	60	62	61	49	13	62
	ピーチ・エアレーション	73	77	77	82		82
	ジェットスター・ジャパン	14	18	12	21		21
	バニラ・エア		7	7	7		7
	日本貨物航空	5	5	5		5	5
アメリカ	ユナイテッド航空	21	21	21	19		19
	デルタ航空	14	21	21	7		7
	アメリカン航空	日本航空とCode.	日本航空とCode.	日本航空とCode.	日本航空とCode.		日本航空とCode.
	ハワイアン航空	7	7	7	7		7
	フェデラルエクスプレス	48	50	48		49	49
	ユナイテッドパーセルサービス	17	17	16		15	15
カナダ	エア・カナダ		6	6			
ドイツ	ツルフトハンザドイツ航空	5	7	7	4		4
オランダ	KLMオランダ航空	6	7	7	5		5
フランス	エールフランス航空	6	6	5	4		4
	エアカレドニアインターナショナル	2	2	2	2		2
イタリア	アリタリアーイタリア航空	大韓航空とCode.	大韓航空とCode.	大韓航空とCode.	大韓航空とCode.		大韓航空とCode.
	カーゴルクスイタリア	2	2	2		2	2
フィンランド	フィンランド航空	5	7	7	5		5
トルコ	ターキッシュエアラインズ	7	7	7	4		4
エジプト	エジプト航空	ターキッシュエアラインズとCode.	ターキッシュエアラインズとCode.	ターキッシュエアラインズとCode.	ターキッシュエアラインズとCode.		ターキッシュエアラインズとCode.
アラブ首長国連邦	エミレーツ航空	7	7	7	7		7
	エティハド航空	大韓航空/アジア航空とCode.	大韓航空/アジア航空とCode.	大韓航空/アジア航空とCode.	大韓航空/アジア航空とCode.		大韓航空/アジア航空とCode.
カタール	カタール航空	5					
南アフリカ	南アフリカ航空	全日空とCode.	全日空とCode.	全日空とCode.	全日空とCode.		全日空とCode.
韓国	大韓航空	69	62	58	67	3	70
	アシアナ航空	37	38	37	42	3	45
	チエジユ航空	42	42	42	42		42
	エアブサン	21	21	21	21		21
	イースター航空	21	21	21	21		21
	ジンエア	28	28	28	32		32
	ティーウェイ航空	17	24	25	28		28
	中国国際航空	47	49	47	45		45
	中国国際貨運航空	3	6	4		6	6
	中国東方航空	57	57	57	57		57
	中国貨運航空	1	7	3		5	5
	中国南方航空	39	39	40	39		39
	厦門航空	9	7	7	7		7
	上海航空	7	7	7	7		7
	揚子江快運航空	5	5	5		5	5
	中国貨運郵政航空	5	5	5		5	5
	深圳航空	24	24	24	23		23
	山東航空	9	9	14	14		14
	春秋航空	42	40	38	38		38
	上海吉祥航空	21	21	21	28		28
天津航空	7	8	8	6		6	
北京首都航空	6	5	5	2		2	
奥凱航空	2	2		2		2	
四川航空	3	3	3	3		3	
香港	ユニトップエアラインズ					6	6
	キャセイパシフィック航空	45	46	46	42	4	46
	香港エクスプレス航空	28	25	24	28		28
	香港航空	3	3	9	14		14
	エアホンコン	6	6	6		6	6
マカオ	マカオ航空	7	7	7	7		7
	エバー航空	37	36	36	35	2	37
	チャイナエアライン	53	57	52	39	13	52
	トランスアジア航空	14	14	14	14		14
	タイガーエア台湾	19	17	17	18		18
フィリピン	Vエア	7	7	7			
	フィリピン航空	14	21	21	21		21
	セブパシフィック航空	5	5	5	5		5
ベトナム	ベトナム航空	14	14	14	14		14
	タイ国際航空	14	14	14	14		14
マレーシア	タイ・エアアジアX	7	7	7	7		7
	バンコクエアウェイズ	日本航空とCode.	日本航空とCode.	日本航空とCode.	日本航空とCode.		日本航空とCode.
	マレーシア航空	7	7	7	7		7
	エアアジアX	7	7	7	10		10
	ファイアフライ				マレーシア航空とCode.		マレーシア航空とCode.
シンガポール	シンガポール航空	14	14	14	14		14
	ジェットスター・アジア航空	16	14	16	17		17
	スクート	6	6	6	6		6
インドネシア	ガルーダ・インドネシア航空	10	10	10	10		10
インド	エアインディア	3	3	3	3		3
	ジェットエアウェイズ	全日空とCode.	全日空とCode.	全日空とCode.	全日空とCode.		全日空とCode.
スリランカ	スリランカ航空	日本航空とCode.	日本航空とCode.	日本航空とCode.	日本航空とCode.		日本航空とCode.
オーストラリア	ジェットスター航空	ジェットスターとCode.	ジェットスターとCode.	ジェットスターとCode.	ジェットスターとCode.		ジェットスターとCode.
	ヴァージン・オーストラリア	5	5	5	7		7
	シンガポール航空とCode.	シンガポール航空とCode.	シンガポール航空とCode.	シンガポール航空とCode.	シンガポール航空とCode.		シンガポール航空とCode.
ニュージーランド	ニュージーランド航空	全日空とCode.	全日空とCode.	全日空とCode.	3		3
合計	週間就航便数	1,216	1,260	1,241	1,131	142	1,273
	1日あたり就航便数	173.7/日	180.0/日	177.3/日	161.6/日	20.3/日	181.9/日
	航空会社数	77社	78社	77社	68社	16社	78社
	就航国(地域)数	24ヶ国	24ヶ国	24ヶ国	20ヶ国	20ヶ国	23ヶ国
	就航都市数	86都市	84都市	85都市	67都市	44都市	83都市

※関西エアポート(株)調べのため、政府認可申請中の便や、申請前の計画便も含まれています。
※Codeは、コードシェア。

前年同期比較(15年冬期/16年冬期)及び前期比較(16年夏期/16年冬期)

航空会社名	15年冬期(実績)→16年冬期(計画)		16年夏期(実績)→16年冬期(計画)	
	増減便数 (ピーク時点)	主な増減便内訳	増減便数 (ピーク時点)	主な増減便内訳
ピーチアビエーション	+9	上海 +5	+5	上海 +5
"		仁川 +3		
"		台北 +1		
ジェットスター・ジャパン	+7	マニラ +7	+9	マニラ +7
"				台北 +2
バニラ・エア	+7	台北 +7		
ユナイテッド航空	△ 2	サンフランシスコ △ 2	△ 2	サンフランシスコ △ 2
デルタ航空	△ 7	グアム △ 7	△ 14	グアム △ 7
"				成田/ニューヨーク △ 7
エア・カナダ			△ 6	バンクーバー △ 6
ルフトハンザドイツ航空	△ 1	フランクフルト △ 1	△ 3	フランクフルト △ 3
KLMオランダ航空	△ 1	アムステルダム △ 1	△ 2	アムステルダム △ 2
エールフランス航空	△ 2	パリ △ 2	△ 1	パリ △ 1
フィンランド航空			△ 2	ヘルシンキ △ 2
ターキッシュ エアラインズ	△ 3	イスタンブール △ 3	△ 3	イスタンブール △ 3
カタール航空	△ 5	ドーハ △ 5		
大韓航空	+1	済州 +1	+12	仁川 +7
"				済州 +1
"				グアム +4
アジアナ航空	+8	仁川 +7	+8	仁川 +7
"		貨物便 +1		貨物便 +1
ジン・エアー	+4	仁川 +4	+4	仁川 +4
ティーウェイ航空	+11	仁川 +7	+3	グアム +3
"		グアム +4		
中国国際航空	△ 2	杭州 △ 2	△ 2	杭州 △ 2
中国東方航空		北京 +3		北京 +3
"		温州 △ 2		温州 △ 2
"		南寧/昆明 △ 1		南寧/昆明 △ 1
中国南方航空		上海 +7	△ 1	上海 +3
"		深セン +1		深セン +1
"		貴陽 △ 2		貴陽 △ 1
"		瀋陽 △ 4		瀋陽 △ 2
"		大連/長春 △ 2		ハルビン △ 2
厦門航空	△ 2	厦門 △ 1		
"		福州 △ 1		
深圳航空	△ 1	福州/深セン △ 3	△ 1	福州/深セン △ 3
"		無錫 +2		無錫 +2
山東航空	+5	済南/昆明 +5		
春秋航空	△ 4	武漢 △ 2		武漢 △ 2
"		成都 △ 4		淮安 +1
"		西安 △ 2		掲陽 +1
"		長春 △ 1		
"		福州 +3		
"		淮安 +1		
"		掲陽 +1		
上海吉祥航空	+7	南京 +7	+7	南京 +7
天津航空	△ 1	天津 △ 3	△ 2	大連 △ 2
"		西安 +2		
北京首都航空	△ 4	杭州 △ 2	△ 3	瀋陽 △ 2
"		塩城 △ 2		済南 △ 1
奥凱航空			+2	天津 +2
キャセイパシフィック航空	+1	香港 +1		
香港エクスプレス			+4	香港 +4
香港航空	+11	香港 +14	+5	香港 +7
"		貨物便 △ 3		貨物便 △ 2
エバー航空			+1	台北 +2
"				貨物便 △ 1
チャイナエアライン	△ 1	高雄 △ 3		台北 △ 1
"		貨物便 +2		貨物便 +1
タイガーエア台湾	△ 1	高雄 △ 1	+1	高雄 +1
Vエア	△ 7	台北 △ 7	△ 7	台北 △ 7
フィリピン航空	+7	台北/マニラ +7		
エアアジアX	+3	クアラルンプール +3	+3	クアラルンプール +3
ジェットスター・アジア航空	+1	マニラ/シンガポール +1	+1	マニラ/シンガポール +1
ジェットスター航空	+2	ケアンズ +2	+2	ケアンズ +2
ニュージーランド航空	+3	オークランド +3	+3	オークランド +3
全日本空輸	+2	貨物便 +2	+1	貨物便 +1
フェデラルエクスプレス	+1	貨物便 +1	+1	貨物便 +1
ユナイテッド・パーセル・サービス	△ 2	貨物便 △ 2	△ 1	貨物便 △ 1
中国国際貨運航空	+3	貨物便 +3	+2	貨物便 +2
中国貨運航空	+4	貨物便 +4	+2	貨物便 +2
ユニトップエアラインズ	+6	貨物便 +6	+6	貨物便 +6
計	57	1,216→1,273	32	1,241→1,273

定期旅客便就航便数(国内線)

地域	都市	大阪国際空港								関西国際空港									
		2015年 冬期	2016年 夏期	2016年冬期					2015年 冬期 12月(ピーク)	2016年 夏期 9月(ピーク)	2016年冬期 12月(ピーク)								
				計	JAL	JAC	ANA	IBX			AMX	計	JAL	JTA	ANA	SFJ	APJ	JJP	SJO
北海道	札幌(新千歳)	10	10	10	4		6			13	13	13	3		3		5	2	
	函館	2	2	2	1		1												
	女満別									1									
	旭川									1									
東北・信越	青森	6	6	6	3		3												
	三沢	1	1	1	1														
	秋田	6	6	6	3		3												
	花巻	4	4	4	4														
	山形	3	3	3	3														
	仙台	14	14	14	7		5	2		4	4	4					4		
	福島	4	4	4			2	2											
	新潟	10	10	10	4		4	2											
関東	東京(成田)	4	4	4	2		2			8	8	9					3	4	2
	東京(羽田)	30	30	30	15		15			13	13	13	3		5	5			
近畿・中国・四国	但馬	2	2	2			2												
	隠岐	1	1	1			1												
	出雲	5	5	5			5												
	松山	12	12	12	3		9			2	1	1					1		
	高知	6	6	6			6												
九州	福岡	10	10	10	4		4	2		7	6	6			1		4	1	
	長崎	7	7	7	4		3			1	1	1					1		
	熊本	10	10	10	3		6		1	1									
	大分	7	7	7	3		3	1											
	宮崎	11	11	11	5		6			1	1	1					1		
	鹿児島	13	13	13			7	6		4	3	3					3		
	屋久島	1	1	1			1												
	奄美大島	1	1	1	1														
沖縄	那覇	5	5	5	2		3			13	13	13		3	4		4	2	
	石垣									3	3	3		1	1		1		
	宮古										1	1			1				
1日あたり便数		185	185	185	72	16	87	9	1	70	69	68	6	4	15	5	27	9	2
就航都市数		26	26	26	19	5	18	5	1	12	14	12	2	2	6	1	10	4	1

※臨時便・チャーター便を除く。

■大阪国際空港 就航会社・・・JAL:日本航空 JAC:日本エアコミューター ANA:全日本空輸 IBX:アイベックスエアラインズ AMX:天草エアライン

■関西国際空港 就航会社・・・JAL:日本航空 JTA:日本トランスオーシャン航空 ANA:全日本空輸 SFJ:スターフライヤー APJ:Peach JJP:ジェットスター・ジャパン SJO:春秋航空日本

貨物定期便就航便数(国内線)

- 関西→中部→那覇 週6便 運航会社:ANA
- 那覇→関西 週6便 運航会社:ANA
- 成田→関西 週6便 運航会社:ANA

関西エアポート株式会社 について

関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITM）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としています。

関西エアポートは、2015年12月15日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を44年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。

会社名

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	資本金	250億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015年12月1日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等	株主	オリックス 40%、ヴァンシ・エアポート 40%、その他の出資者 20% (*1)



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界36カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

2014年に50周年を迎え、これからも経営戦略である「金融+サービス」の加速化、「アジア等新興国の成長を取り込む」を推進し、新たな事業機会の獲得と持続的な成長を目指すと同時に、社会に貢献してまいります。



ヴァンシ・エアポートは、フランスで12、ポルトガルで10（リスボンのハブ空港を含む）、カンボジアで3、日本で2、ドミニカで6、そしてチリで1空港の合計34空港の開発および運営を行うグローバル企業です。

ヴァンシ・エアポートが運営する空港ネットワークの2015年の年間利用者数は1億人にのぼり、140社を超える航空会社が就航しています。2015年のヴァンシ・エアポートの年間売上高は8億2000万ユーロ(*2)を記録しています。

ヴァンシ・エアポートは、深い知見と、プロフェッショナルリズムあふれる世界各国の8,500名のスタッフの力を合わせ、その投資力や国際ネットワーク、既存空港のインフラ運営最適化、施設の拡充、新規建設における専門性を生かし、空港の開発、資金調達、建設、および運営を行っています。詳細につきましては、www.vinci-airports.comをご覧ください。

(*1) その他の出資者

株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ジェイティービー、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

(*2) 日本、チリ、ドミニカ共和国の各空港のデータを含まず。